

全連小広報部 用字用語例

(修正版)

昭和63年9月16日広報部会作成

平成4年11月26日シリーズ等編集委員会補記
平成22年12月17日常任理事会修正(常用漢字11月30日内閣告示)

ア行	
あいさつ	→挨拶
暖かい心	温かい心
あたりまえ	当たり前
あらためて	改めて
あらたに	新たに
ありかた	在り方
有難う	ありがとうございます
或は	あるいは
活かす、いかす	生かす
如何なる	いかなる
いきいき	生き生き
いきがい	生き甲斐
何れ	いずれ
懐く、いだく	抱く
いたず	致す
位置づく	位置付く
いつごうに	一向に
いつさい	一切
いつしょに	一緒に
いっせい	一齊
いっそう	一層
うしろ	後ろ
おおぜい	大勢
おこす	起こす
おこなう	行う
恐らく	おそらく
おとな	大人
おのの	各々
自ら	おのずから
おもしろい	面白い
および…(接続詞)	及び
カ行	
却って	かえって
かかる	関わる
かたづける	片付ける
且つ	かつ…
かてい、過程、課程	指導過程、教育課程
からならず	必ず
がまん	我慢
きたえる	鍛える
きづく	気付く
きびしい	厳しい
くふう	工夫
位、ぐらい	ぐらい
くりかえす	繰り返す
こころ懇け	心掛け…
毎	(ことある)ごと
こたえる	応える
ことがら	事柄

タ行	
ついで	→ 次いで
つぎに	次に
つくる(新しい時代を)	創る
つごう	都合
つねに	常に
てあて	手当
適確	的確
出来る	できる
てだて	手だて
手元、手許	手もと
同志、同士	教師同士
…の通り	…のとおり
…をとおして	…を通して
とくに	特に
友だち、ともだち	友達
捉える、把える	…をとらえる
とりあつかい	取り扱い
とりくむ(動詞扱い)	取り組む
取組み、取り組み(名詞扱い)	取組
ナ行	
尚、猶	なお
中でも	なかでも
なかま	仲間
何故	なぜ
…等	…など
なにぶん	何分
ならびに	並びに
成程	なるほど
になう、荷なう	担う
船り強い	ねばり強い
則って	のつとて
ハ行	
はあく	把握
…をはかる	…を図る
はぐくむ	育む
はたす	果たす
ひとりひとり	一人一人
ひらく(新しい時代を)	拓く
父母	保護者(いに统一)
触れ合い	ふれあい
僻地、辺境	へき地
ほか、外	他
殆ど	ほとんど
ほんとう	本当
イ行	
先ず、まづ	まず
益々、増え々	ますます
まちがう	間違う
まったく	全く
見出す	見いだす
タ行	
見きわめる	→ 見極める
見事、美事	みごと
みぢか	身近
みずから	自ら
身につく	身に付く
子供を見る、見取る	子どもを見る、みとる
むずかしい	難しい
めあて	目当て
めざす	目指す
めんどう	面倒
もくと	目途
勿論	もちろん
もより	最寄り
ヤ行	
やくわり	役割
やさしい	易しい
ようす	様子
…の様だ	…のようだ
余程	よほど
ラ行	
(彼)等、(何)等	(彼)ら
りっぱ	立派
連係、連繫	連携
ワ行	
我が国、わが校に(校)	我が国、我が校
解かる、判る	分かる
わずか	僅か
わたくし、わたし	私
亘って、亘って	わたって
わりあい	割合
その他の表記	
三ヶ月、三カ月、三箇年	三か年
当校は…、我が校は…	本校は…
学校区、校下	校区、学区
児童・生徒	児童生徒
基礎基本	基礎・基本
基礎的、基本的	基礎的・基本的
思考力、判断力	思考力・判断力
読み横文字の使い方	
Plan, Do, Check, Action	P-D-C-A(計画・実施・評価・改善)